

2019年4月

ヘルスケア・インサイト、イノベーションとインパクト

4月、ヘルスケア株は下落し、S&P500指数をアンダーパフォームしました。

国民皆保険制度法案が可決された場合は薬価制度に影響を及ぼすとの懸念が、製薬セクターのセンチメントを曇らせました。

最もパフォーマンスが良かったサブ・セクターはヘルスケア・テクノロジー、続いてライフサイエンス・ツール&サービスでした。

## 市場インサイト

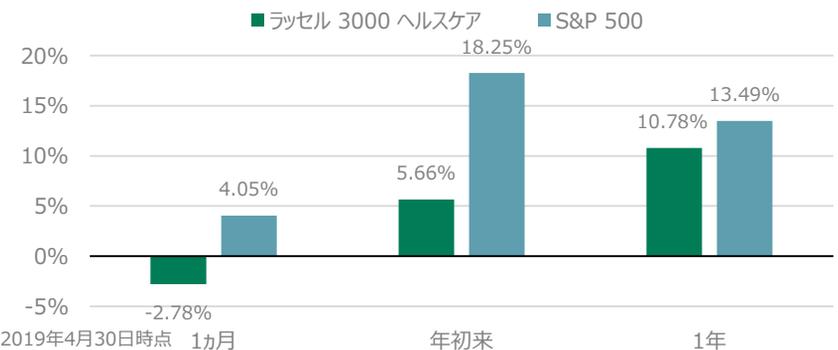
ヘルスケア・セクターにおいて、2019年第1四半期を通じて11あるセクターのなかで最も良好な増益(前年比)が発表されましたが、4月に株価は下落し、S&P500指数をアンダーパフォームしました。このパフォーマンスの矛盾は、企業業績のファンダメンタルズよりもむしろ投資家センチメントが弱気になったことによるものです。

サブ・セクターにおいては、ヘルスケア・プロバイダー & サービスは2桁の増益を発表しましたが、一方で、製薬はヘルスケア・セクターのなかで唯一減益となりました。国民皆保険制度法案が可決された場合は薬価制度に影響を及ぼすとの懸念が、製薬セクターのセンチメントを曇らせました。しかし、全般的に関係者が強く反対しており、国民の支持も充分ではないことから、現状では法案が可決されない見通しです。対照的に、米国企業全体の第1四半期の業績はやや低下したにも関わらず、4月の米国株全体は上昇しました。今期の業績発表シーズンの残りの期間にもこの傾向が続けば、2016年中盤以来の減益(前年比)となります。

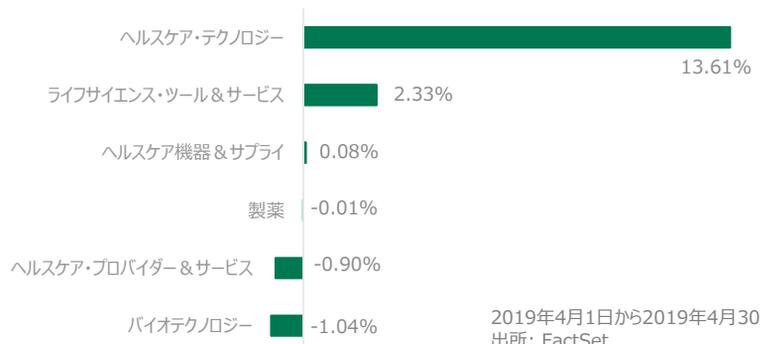
ファンダメンタルズを重視する投資家として私どもは、市場のセンチメントに左右された投資判断を行うことはいたしません。しかし、魅力ある価格で優良な企業の株式に投資し得る好機がきたことを喜んでいきます。最近の株価下落のおかげで、ヘルスケア・セクターでは、成長が見込める株の多くが魅力的なバリュエーションになっています。

## パフォーマンス・スナップショット

月次トータルリターン



業種別超過リターン、対ラッセル3000ヘルスケア指数



## 国連の 持続可能な 発展目標(SDGs)



「健全な生活を確保し、あらゆる世代層の健康を促進する」

### インパクト・テーマ



革新的な治療法



医薬品とサービスへのアクセス



医療費削減の新しいソリューション



機器、サービス、ソフトウェアの生産性向上

## CRISPR : 研究室から実用化へ

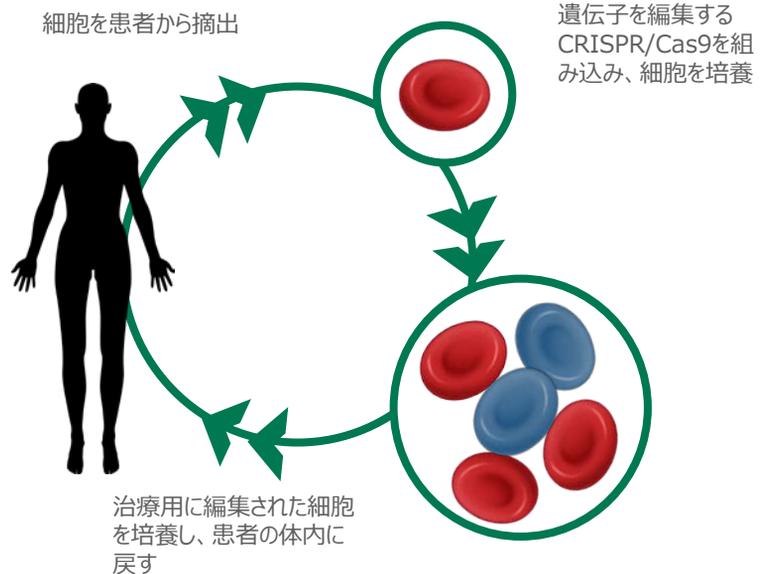
先月のヘルスケア・マンスリー・レポートでは、癌やある種の血液疾患、神経疾患などの難治性の遺伝病に効果的な治療の希望をもたらしている、革新的な遺伝子編集技術CRISPR（クリスパー、clustered regularly interspaced short palindromic repeats）についてお話ししました。HIV/エイズのような衰弱性の後天性疾患もこの方法で治療できるかもしれません。

CRISPRは今や、研究室や科学者の領域に限られず、臨床試験で使用されています。今月のヘルスケア・マンスリー・レポートではこの技術の最前線の開発を取り上げます。

今年2月、パーテックス・ファーマシューティカルズ社とクリスパー・セラピューティクス社は、米国では初と言われる、企業によるCRISPRを使ったヒト治験を実施しました。同2社は2018年11月に欧州でも、2つの遺伝性血液疾患に関係する初の試みとして、これと同様の治験を行いました。治験の対象である血液疾患の1つである鎌状赤血球貧血は、これまでは治療法が限られており、また重い副作用を引き起こすことが多かったため、この疾患が新しい医療技術の初めの治験対象になっています。

4月には、従来の治療後に再発した癌患者を治療する試みが開始されました。また、昨年11月には、エディタス・メディスンが、CRISPRを用いた遺伝性の失明の治験に患者を登録する承認を、米国食品医薬品局（FDA）から受けました。エディタスのこの治験は、体内で遺伝子編集を試みる初の治験です。これとは対照的に、現在試験中の他の治療法のほとんどは、細胞を抽出して編集し、編集した細胞を患者の体内に再導入するものです。

### 生体外CRISPRプロセス



### 注目銘柄 : パーテックス・ファーマシューティカルズ

パーテックス・ファーマシューティカルズは、致死的な重篤疾患を持つ人々のための変革的な医薬品の開発を目指し、科学的な革新に投資する、世界的なバイオテクノロジー企業です。嚢胞性線維症の臨床開発プログラムの他、重篤な疾患の根底にあるメカニズムに焦点を当てた12件以上の進行中の研究プログラムを持っています。パーテックス・ファーマシューティカルズは、私どもの目標としている社会的インパクト・テーマ（左端参照）のうち、これらの疾患に関する「革新的な治療法を提供する」を達成するのにふさわしい企業です。

## 著者



**Michael Li, Ph.D.**

ポートフォリオ・マネジャー

アメリカン・センチュリー・インベストメンツのVP及びポートフォリオ・マネジャー。2002年に同社入社。それ以前は科学者及びプロジェクト・マネジャーとしてPharmaceutical Research Institute of Bristol-Myers Squibb Co. に勤務し、FDAに研究用新薬の申請を行うなど、医薬品発見から開発まで、研究者をサポートする多機能チームの管理に従事した。中国科学技術大学で材料科学及びエンジニアリングの学士号取得、ペンシルベニア大学ウォートンスクールで経営学修士号、ミシガン大学で化学Ph.D.を取得。



**Henry He, CFA**

ポートフォリオ・マネジャー

アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオ・マネジャー。前職はBNP Paribas Investment Partnersのシニア・エクイティ・リサーチ・アナリスト、及びポートフォリオ・マネジャーとしてヘルスケア及びバイオテクノロジーセクターの運用を担当。ハーバード大学で経済学学士号取得。CFA®チャーターホルダー。



**Kevin Lewis, CFA, CAIA**

シニア・クライアント・  
ポートフォリオ・マネジャー

投資家と共に歩み、グローバルグロース株式市場に関するインサイトと展望を提供する。また、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオ運用チームを代表して同社のグロース株投資哲学、投資プロセス、及びパフォーマンスを提供する。CFA®チャーターホルダー及びCAIA®チャーターホルダー。

過去のパフォーマンスは将来の投資成果を保証するものではありません。

ここに表明される意見は、アメリカン・センチュリー・インベストメンツの意見であり、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオの将来のパフォーマンスを保証するものではありません。この情報は参考情報の提供のみを目的としており、投資アドバイスを目的としたものではありません。特定の有価証券への言及は、説明目的のためのみであり、有価証券の購入または売却の推奨を意図したものではありません。提示された意見及び予想は当社の判断とその他のポートフォリオ・データを含んでおり、予告なしに変更されることがあります。

この情報は、個人的な推奨あるいは信任アドバイスを意図したのではなく、投資や会計、法律、税務アドバイスの判断に用いられるべきではありません。

日本の投資家向け：この資料は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されているいかなる有価証券やアドバイス、サービス、投資戦略、プロダクトの売買の勧誘を目的としたものではありません。この資料は米国外のリテール投資家を対象としています。この文書の内容は規制当局によって審査されていません。American Century Investment Management, Inc. は日本で登録されていません。

American Century Investment Management (Asia Pacific), Limitedは証券先物委員会（「SFC」）のタイプ1およびタイプ4の登録を保持しています。American Century Investment Management, Inc.はSFCに登録されていません。

### American Century Investments®

4500 Main Street  
Kansas City, MO 64111  
1-866-628-8826

330 Madison Avenue  
New York, NY 10017  
1-866-628-8826

1665 Charleston Road  
Mountain View, CA 94043  
1-866-628-8826

2121 Rosecrans Avenue  
El Segundo, CA 90245  
1-866-628-8826

3 Garden Road, Central  
Hong Kong  
+852 3405 2600

12 Henrietta Street  
London, WC2E 8LH  
+44 20 7024 7080

167 Macquarie Street  
Sydney, NSW 2000  
+61 2 8667 3025

# 【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

## ■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。

したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

## ■投資信託に係る費用について

2019年5月現在

ご購入時手数料 《上限4.32%(税込み)》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用(信託報酬) 《上限2.1816%(税込み)》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

## 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会